

# Andine

TUC+KYOKU 公演

オンディーヌ

「純粋で透明で汚れない瞳はまるで妖精のようだ。」

「俺、妖精だよ。」

原作／ジャン・ジロドゥ  
脚色／橋本一兵  
演出／滝沢修  
人形監修／沢則行

2012年

11月3日(土)

15:00 / 19:00 開演

11月4日(日)

11:00 / 15:00 開演

※開場は開演の30分前です

<場所>

札幌市こどもの劇場やまびこ座  
(札幌市東区北27条東15丁目)

※地下鉄東豊線元町駅2番出口より徒歩5分

詳細情報インターネット「やまびこ座」で検索

T U C + K Y O K U 公 演

# オンデイナー

## ～キャスト～

たかはしちひろ  
金野翔太  
斎藤もと

イワオリョウ (フリー)  
鷹野学 (教文 13 丁目笑劇一座)  
高野吟子 (劇団新劇場)  
和川祐介 (劇団オガワ)

三好珠貴 (人形劇団ボンド)  
白川さおり (人形劇団ボンド)  
須摩康平 (人形劇団ボンド)  
須摩大輔 (人形劇団ボンド)  
須摩省吾 (人形劇団ボンド)

蓮見セリナ (ダンスコミュニティ Tane)  
黒田美幸 (ダンスコミュニティ Tane)  
堀内まゆみ (ダンスコミュニティ Tane)

滝沢修

## ～人形操作～

森三成子

## <料金>

大人 1,500 円

小人 700 円 (小学生～高校生)

親子ペア 2,000 円

※チケット取扱い

大丸プレイガイド・札幌市こどもの劇場やまびこ座

## <ご予約・お問合せ>

メール wearetuc2006@yahoo.co.jp

電話 070-5285-3237 (18 時～23 時)

情報はコチラ→TUC ブログ <http://teatrotuc.exblog.jp/>

## ～スタッフ～

舞台監督 吉田千恵 (劇団ドラマシアターども)

照明 鈴木静悟

音楽 横田正男

亀川朗

映像演出 富田哲司

人形制作協力 永桶まりか

永桶宏樹

細川絵里子

藤懸くみこ

協力 矢吹英孝 (札幌市こどもの劇場やまびこ座)

噛みつき亀というのがいる。この亀は外来種でペットとして飼われていたものが人間に川や湖に放され日本に住み着いたと聞く。目の前に動くものがあると空腹だろうが満腹だろうが噛みつくそうだ。噛まれたものはたまったものじゃない。この亀は愛というものを持っていないと思っていた。噛みつき亀は愛や恋慕に満ちた態度や行動をしないに決まっている。何せ、めくらめっぽう噛みつきなのであるから。いやいや、しかしこれは私の浅はかな考えだということが判った。理科の先生によれば、噛みつき亀は本当のところ噛みつきたくないのである。生きる為に否応なく噛みつきただけなのだ。

愛は他者に対して親密な関係を求める感情、他の全てを犠牲にしても悔いがないと思いつくような情をいだき、常に相手のことを思うことと云われている。噛みつき亀はちゃんと愛をはぐくみ子孫を増やしているではないか。雄雌が互いに相手を選び、慕ってつがいになるのだから、互いに好きで、会いたい、いつまでもそばにいたいと思っているだろう。相手をたいせつに思う気持ちをもつことで噛みつき亀は生存し続けるに違いない。

噛みつき亀の愛について悩むのは止めて、人間の愛について考えることにしよう。

演出 滝沢修

後援：札幌市 / 札幌市教育委員会

協力：さっぽろアートステージ 2012 実行委員会、札幌劇場連絡会